

部課室名	農地整備課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	農地整備課長 杉本 修一郎 (盛 健二)	内線	4003 (4014)
------	-------	---------------------	----------------------------	----	----------------

事業種目	ほ場整備	事業名	事業区間	総事業費	
		県営ほ場整備事業	小野南地区	650 百万円	
所在地			着工予定年	完成予定年	
小野市下大部町外			13	17	
事業の目的			事業内容		
機械化営農技術の発展などに即して、農地等の区画形質の変更、その他ほ場条件等の整備を行うことにより農業生産性の向上を図り、併せて農業構造の改善に資する。			区画整理 37ha		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性	<p>ほ場整備事業を実施することで、食糧の安定供給、労働生産性の向上、耕地の汎用化、農村生活環境の改善等が同時に図られることとなり、農村地域における環境保全、県土保全機能の維持増進が可能となる。</p> <p>本地区の水田は、小区画、不整形であり、農業従事者の高齢化により耕作放棄地の増加が予想される。このような状況の中、受益者・市の強い要望もあり、早急に整備を行い農地の荒廃防止と担い手への農地集積による効率的安定的な担い手の育成を図る必要がある。</p> <p>ほ場整備事業に併せて、基幹排水路の改修により、たびたび発生する湛水被害から県民の財産・生命を守ることができる。</p>				
(2)有効性・効率性	<p>投資効率 1.10、所得償還率 18.6%であり、事業としての効果が十分に期待でき農家負担も低く押さえられている。</p> <p>同意率 99% (113 / 114)</p>				
(3)環境適合性	<p>ピオトープ水路の設置など環境への配慮も行っている。</p>				
(4)優先性	<p>隣接して葉多町周辺まちづくり構想のもとに、土地区画整理事業が計画されており、農地と住宅地の一体的な整備は、地域の発展に大きな効果が期待できる。</p>				
評価の結果	着手妥当	左の理由	審査の結果、事業着手が妥当と認められた。		